



北茨城市国際交流協会 広報誌

Kitaibaraki International Communication Society

Vol.36

2021年6月13日

発行者：北茨城市国際交流協会
〒319-1541 北茨城市磯原町磯原1630
電話 0293-43-1111 内線178
北茨城市市民福祉部まちづくり協働課内



山々の緑も、雨に打たれて色濃くなり、夏が待ち遠しい今日この頃、皆さまいかがお過ごしでしょうか。国際交流協会では、前年度も感染予防を徹底した上で事業委員会を重ね、コロナ禍でも可能な事業を展開していかうと話し合ってきました。

今はまだ限られた中での活動ですが、また皆さまと一緒にできる日の為に、より一層準備してまいりますので、その際は是非ご参加いただきたく存じます。

末筆ではございますが、皆さまの一層のご自愛のほどお祈り申し上げます。

北茨城市国際交流協会会長 荒木 原野

2021年度の 主な 活動報告

例年通りの事業が中止となるなか、いまだからこそできることを行いました。

①KICS資料や備品の整理

これまでKICSの備品は、事業に参加する皆さんが各々管理し、毎年持ち寄りで行なっていました。そこで今回、それらを一箇所に管理



するとともに、要・不要の判断をしながら、整理を始めました。皆さんのおうちに、KICSのもので処分の判断し兼ねる備品がございましたら、一度お声がけください。

②PR動画の作成

KICSが年間通して行う事業の写真や動画、関わっていただいた皆さんの言葉などを集めて、PR動画を作りはじめました。

会員の皆さまや、まだKICSを知らない方、若人親善大使・ホームステイ受け入れに興味のある市民の皆さんに届くよう、いくつか作成していきます。

完成した際には、Facebookやホームページにてお知らせする予定です。

③メモリー写真館

Facebookにて12回にわたり、KICS懐かしの写真を思い出の言葉を添えて紹介してきました。

ここでは一部を紹介します。

他の写真も、右のQRコードよりご覧ください。



<左から：トレバー先生を囲んだ歴史を感じる2枚、2016年9月のWAIPROにて圧巻のハカ、NZのポピュラーなフルーツ・フェイジョア、ワイロアで開催されたL2L国際レースに参加されたKICSメンバー紙谷さんの応援団>

ニュージーランドのコロナ対応

ニュージーランドはコロナウイルス世界的流行の初期、国内の感染者が数十人の時点で、世界でもいち早くロックダウンを実行しました。国境の封鎖、渡航者の強制隔離を徹底しました。各国「感染抑制」の姿勢をとっていましたが、ニュージーランドはいち早く「排除」の姿勢を打ち出し、それに成功しました。

2021年2月18日、すべての規制が解除され、マスクどころかソーシャルディスタンスさえ推奨されない、平常の生活が戻っております。

【入国制限と渡航情報】

2020年3月20日以降、すべてのニュージーランドへの観光目的の渡航者の入国が禁止されています。日本～ニュージーランド（オークランド）間を結ぶニュージーランド航空の定期便は、現在週1便のみ運航となっております。 ※2021年6月30日まで（予定）

■2022年度 事業計画

2021年6月	北茨城市国際交流協会 定期総会
7月	県国際交流・協力ネットワーク会議
9月	ビデオ・チャット交流
11月	国際理解セミナー
12月	ビデオ・チャット交流
2022年1月	近隣大学留学生ホームステイ ※1)
2月	国際理解セミナー
3月	KYAP-20若人親善大使派遣 ※1)

※1) コロナウイルス感染症終息後、実施を検討します

編集 後記

コロナ禍という言葉が生まれてから1年以上経ちました。コロナありきの新しい生活様式になり、異常だったことがスタンダードになりつつあります。ワクチン接種が進む中、今後の世界情勢も見据えつつ、私たちが今できることを微力ながらやっていきます。

ホームページ：<https://www.kicsteam.com>